



# 国内で数社しかない 特殊熱処理加工

## 三洋金属熱錬工業株式会社

### 「ADI処理」は 国内トップシェア

昭和36年創業の三洋金属熱錬工業。熱処理の中でも同社が手がけているのは製品熱処理。特に、自動車のエンジンパーツ、ミッション、ギヤ等といった、駆動部品の熱処理を多く扱っている。

従来、熱処理を依頼される製品は、铸造品や鍛造品等、種類は様々だったが、最近ではほとんどが鍛造品になっている。近年、鍛造技術が向上し、質の高い鍛造品ができるようになったことが要因である。ここで問題となるのが、これまでは2〜3mmあった鍛造品の取りしろ部分が、今では1mmをきり、コンマレベルになっているという点だ。ただでさえ製品は炉の中で超高温になり傷つきやすい状態になっている。これまで以上に丁寧に扱わないと、すぐに傷がついてしまうのだ。

そこで同社が自社開発したのが「打痕対策用の連続炉」である。実用新案申請を検討中のこの特殊炉は、熱処理業の永遠のテーマである「打痕」を解決する画期的な連続炉だ。国内では同社にしかなく、そのため遠方のメーカーからもこの炉を使用した熱処理の注文が絶えないという。また同社は、「ADI処理」において、国内トップのシェアを持つ上に、



国内で最大級の炉を備えている。ADI処理とは、鑄物のままだと硬くてもろい製品の耐磨耗性、靱性を飛躍的に高め、機械的性質を上げる加工のこと。高い技術と共に、質の高い素材が必要となる「特殊鋼加工」の一種である「ADI処理」を行えるのは、国内では同社を含め数社のみである。

### 3年以内に「金属熱処理技能士」 2級を目指す

熱処理は加工の前後で見た目は全く変わらず、内部の組織だけが変化する。つまり、質の高い加工ができていくかどうかは、破壊し、検査をしないと判別できない。そこで、大切になってくるのが工程保証だ。加工の温度条件、加工時間、設備、設備のメンテナンス、そして、作業者の教育レベルまで保証範囲に入っている。

「特に当社は、自動車部品の中でも人命に関わる可能性の高い駆動部品を扱っています。メーカーの非常に厳しい監査の下、熱処理を行っています」と葛村安弘社長は言う。

だからこそ若手技術者の教育にも熱心だ。同社では、全技術者の約7割が「金属熱処理技能士」の資格を持つている。方針として、入社して3年以内に「金属熱処理技能士」の2級以上をとらせているのだ。

早川弉雄常務は、「まず熱処理の本を自分で買わせます。決して買いません。それと並行して、日常業務の中で熱処理を行わせるのです。ほぼ3年で基本的なことは習得でき

ます」と話す。

数年前からは、作業の手順書は現場の技術者たちに考えさせているという同社。「汗を出す現場から、知恵を出す現場へ」という葛村社長発案のスローガンの如く、誰もが積極的に関与している。

#### 主な事業内容

金属熱処理加工全般



葛村安弘さん  
代表取締役



早川弉雄さん  
常務取締役

三洋金属熱錬工業株式会社

Company  
Profile

住所 / 〒587-0061  
大阪府堺市美原区今井348-1  
設立 / 昭和36年4月  
資本金 / 2,000万円  
従業員 / 40名 (平成21年1月現在)  
TEL / 072-361-5711  
FAX / 072-361-5578

ISO 9001

大阪  
20

<http://www.sanyounetsuren.com/>